

## (6) 教育課程の変更状況

## ① 大学院学校教育研究科

上越教育大学大学院学校教育研究科履修規程の一部を改正する規程新旧対照表

改正案			現行		
(趣旨) <b>第1条</b> 略			(趣旨) <b>第1条</b> この規程は、上越教育大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第64条の規定に基づき、大学院学校教育研究科（以下「大学院」という。）における専攻の目的、開設する授業科目及びその履修方法並びに研究指導の方法について必要な事項を定める。		
(専攻の目的) <b>第2条</b> 大学院の専攻において学生に修得させるべき能力等の教育目標は、次の表に掲げるとおりとする。			(専攻の目的) <b>第2条</b> 大学院の専攻において学生に修得させるべき能力等の教育目標は、次の表に掲げるとおりとする。		
	課程・専攻名	目的		課程・専攻名	目的
修士課程	学校教育専攻	臨床的視点から幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校等における教育に関する理論と応用を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授け、教育にたずさわる者の使命と熱意に応え、その研究研鑽を推進するとともに、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力を備えた有為の教育者を養成することを目的とする。	修士課程	学校教育専攻	臨床的視点から幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育に関する理論と応用を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授け、教育にたずさわる者の使命と熱意に応え、その研究研鑽を推進するとともに、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力を備えた有為の教育者を養成することを目的とする。
	教科・領域教育専攻	教科・領域教育の多様な視点から学校教育に関する理論と応用を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授け、教育にたずさわる者の使命と熱意に応え、その研究研鑽を推進するとともに、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力を備えた有為の教育者を養成することを目的とする。		教科・領域教育専攻	教科・領域教育の多様な視点から学校教育に関する理論と応用を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授け、教育にたずさわる者の使命と熱意に応え、その研究研鑽を推進するとともに、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力を備えた有為の教育者を養成することを目的とする。
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	教職に関わる精深な学識を授けるとともに、理論と実践の架橋・往還・融合を通して、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を備えた高度専門職業人としての初等中等教育教員を養成することを目的とする。	専門職学位課程	教育実践高度化専攻	教職に関わる精深な学識を授けるとともに、理論と実践の架橋・往還・融合を通して、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を備えた高度専門職業人としての初等中等教育教員を養成することを目的とする。
(専攻・コース) <b>第3条</b> 学生は、次の各号のいずれかに所属し履修するものとする。 (1) 修士課程においては、学校教育専攻（グローバル・ICT・学習研究、道徳・生徒			(専攻・コース) <b>第3条</b> 学生は、次の各号のいずれかに所属し履修するものとする。 (1) 修士課程においては、学校教育専攻（学校臨床研究、臨床心理学、幼児教育及び特		

指導、教育連携、臨床心理学、幼年教育及び特別支援教育の各コース）及び教科・領域教育専攻（言語系教育実践、社会系教育実践、自然系教育実践、芸術系教育実践及び生活・健康系教育実践の各コース）

- (2) 専門職学位課程においては、教育実践高度化専攻（教育臨床及び教育経営の各コース）
- 2 前項に規定する各課程の専攻・コースを履修する入学年次ごとの標準の学生数は、次の表に掲げるとおりとする。

課程・専攻・コース名			学生数
修士課程	学校教育専攻	グローバル・ICT・学習研究コース 道徳・生徒指導コース 教育連携コース 臨床心理学コース 幼年教育コース 特別支援教育コース	約34人 約12人 約22人 約18人 約5人 約25人
	教科・領域教育専攻	言語系教育実践コース 社会系教育実践コース 自然系教育実践コース 芸術系教育実践コース 生活・健康系教育実践コース	約25人 約21人 約25人 約25人 約28人
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	教育臨床コース 教育経営コース	約40人 約20人
計			300人

別支援教育の各コース）及び教科・領域教育専攻（言語系、社会系、自然系、芸術系及び生活・健康系の各コース）

- (2) 専門職学位課程においては、教育実践高度化専攻（教育実践リーダー及び学校運営リーダーの各コース）
- 2 前項に規定する各課程の専攻・コースを履修する入学年次ごとの標準の学生数は、次の表に掲げるとおりとする。

課程・専攻・コース名			学生数
修士課程	学校教育専攻	学校臨床研究コース  臨床心理学コース 幼児教育コース 特別支援教育コース	約70人  約18人 約7人 約25人
	教科・領域教育専攻	言語系コース 社会系コース 自然系コース 芸術系コース 生活・健康系コース	約25人 約23人 約27人 約27人 約28人
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	教育実践リーダーコース 学校運営リーダーコース	約30人 約20人
計			300人

(教員免許状の取得)

**第4条 略**

(教員免許状の取得)

- 第4条** 修士課程及び専門職学位課程の各専攻・コースにおいて取得することができる教員の免許状の種類は、別表第1に掲げるとおりとする。
- 2 前項の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

(授業科目の区分)

**第5条 略**

(授業科目の区分)

- 第5条** 修士課程及び専門職学位課程の授業科目の区分・内容は、次の各号の表に掲げるとおりとする。
- (1) 修士課程の授業科目

授業科目の区分	内	容
---------	---	---

共通科目	学校場面に生起する諸問題に取り組み、学び合いの中から問題解決が可能となる実践力を育成するために、開設する。
専攻科目	1 現代の教育課題と学際研究の進展に対応した高度な専門性を形成するために、各専門領域に関わる専門科目及び学校教育に関する広範な専門分野における方法論と教育実践学へのアプローチに関する方法論について開設する。 2 各自の研究テーマを具体化する専門セミナーについて開設する。

(2) 専門職学位課程の授業科目

授業科目の区分	内 容
臨床共通科目	教職に求められる高度に専門的な力量の基礎となる学識と教養及び技能を体系的に身に付けるために開設する。
コース別選択科目	深い学識と教養をもとにして学校現場における実践を意味づけ、的確に判断する力量を身に付けるために開設する。
実習科目	教育現場の状況を的確に把握し、他の人々と協働しながら適切に対応する力量を、学校現場における実践を通して身に付けるために開設する。

(履修単位の区分)

**第6条** 修士課程の修了要件を満たすためには、別表第2に規定する履修基準に基づき30単位以上を修得しなければならない。

2 専門職学位課程の修了要件を満たすためには、別表第2に規定する履修基準に基づき所定の46単位以上を修得しなければならない。

(削る)

(修了要件と履修単位の区分)

**第6条** 修士課程の修了要件を満たすためには、大学院に2年以上在学し、別表第2に規定する履修基準に基づき30単位以上を修得し、かつ、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。

2 専門職学位課程の修了要件を満たすためには、大学院に2年以上在学し、別表第2に規定する履修基準に基づき所定の46単位以上を修得しなければならない。ただし、小学校等の教員としての実務の経験を10年以上有する者等については、申請に基づき、実習科目により修得する10単位のうち6単位を免除することができる。

3 第1項及び第2項の規定にかかわらず、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者の修了要件に係る在学年数は、3年以上とする。

(授業科目名、単位数、必修・選択等の区分等)

**第7条** 略

(授業科目名、単位数、必修・選択等の区分等)

**第7条** 修士課程及び専門職学位課程の授業科目の区分に属する授業科目名及び単位数、必修・選択等については、別表第3に掲げるとおりとする。

(教育職員免許取得プログラム)

**第8条** 略

(教育職員免許取得プログラム)

**第8条** 修士課程の学生のうち、教育職員免許状の取得の所要資格を得させるためのプロ

	<p>グラム（以下「教育職員免許取得プログラム」という。）の受講を許可された者は、学校教育学部において開設する授業科目のうち、別に定める教育職員免許状の所要資格を得るための授業科目を履修することができる。</p> <p>2 教育職員免許取得プログラムについて必要な事項は、別に定める。</p> <p>3 前2項の規定により授業科目を履修し、当該授業科目の試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、修得した単位は、学則第72条第1項に規定する修了要件の単位数には含まない。</p>
<p>(<u>教職大学院1年制プログラム</u>)  <b>第8条の2</b> <u>学則第59条第2項に規定する履修上の区分を教職大学院1年制プログラムという。</u>  2 <u>教職大学院1年制プログラムは、学則第72条第3項の規定に基づき、実習科目10単位のうち6単位について修得しているものとみなし、当該授業科目の履修を免除された者を対象とする。</u>  3 <u>教職大学院1年制プログラムについて必要な事項は、別に定める。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>(研究指導及び修学指導)  <b>第9条</b> 略</p>	<p>(研究指導及び修学指導)  <b>第9条</b> 学生には、研究指導又は修学指導を担当する指導教員を定めるものとする。</p>
<p>(研究計画及び研究題目)  <b>第10条</b> 略</p>	<p>(研究計画及び研究題目)  <b>第10条</b> 修士課程の学生は、入学後速やかに指導教員の指導を受けて、別に定めるところに従い研究計画を立てるとともに、その研究題目を決定しなければならない。</p>
<p>(授業計画及び履修登録)  <b>第11条</b> 略</p>	<p>(授業計画及び履修登録)  <b>第11条</b> 学生は、当該年度内に履修しようとする授業科目について、別に定めるところに従い授業計画を立て、履修登録を行わなければならない。</p>
<p>(履修登録の上限)  <b>第12条</b> <u>専門職学位課程の学生が1年間に履修登録できる単位数の上限は、36単位とする。ただし、教職大学院1年制プログラムを履修する学生にあつてはこの限りでない。</u>  2 <u>履修登録の上限に関し必要な事項は、別に定める。</u></p>	<p>(履修登録の上限)  <b>第12条</b> 専門職学位課程の学生が1年間に履修登録できる単位数の上限は、36単位とする。  2 履修登録の上限に関し必要な事項は、別に定める。</p>
<p>(試験)  <b>第13条</b> 略</p>	<p>(試験)  <b>第13条</b> 試験は、各授業科目の受講を終了した者について、学年末又は学期末に行うものとする。  2 前項の規定にかかわらず、授業担当教員が必要と認めるときは、随時試験を行うことができる。  3 出席時数が単位修得に必要な授業時数の3分の2に達しない者は、原則として受験資格を失うものとする。  4 試験を実施する科目について試験を受けない場合は、単位は与えないものとする。</p>
<p>(追試験)  <b>第14条</b> 略</p>	<p>(追試験)  <b>第14条</b> 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかつた者は、願ひ出によって追試験を受けることができる。</p>

<p>(成績の評価)  <b>第15条</b> 略</p>			<p>(成績の評価)  <b>第15条</b> 授業科目の試験の成績は、S、A、B、C及びDの5種の評語をもって表し、100点満点中90点以上をS、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB及び60点以上70点未満をCとして合格とし、60点未満をDとし、不合格とする。  2 学生は、一度合格と判定された授業科目については、取り消すこと又は再履修することができない。</p>		
<p>(不正行為)  <b>第16条</b> 略</p>			<p>(不正行為)  <b>第16条</b> 試験の際に学生が不正行為を行った場合は、当該授業科目の受験は無効とし、その状況によっては当該学期の授業科目の受験全部を無効とすることがある。</p>		
<p>(学位論文の提出及び審査等)  <b>第17条</b> 略</p>			<p>(学位論文の提出及び審査等)  <b>第17条</b> 修士課程における学位論文又は特定の課題についての研究の成果の提出、審査及び試験については、上越教育大学学位規則（平成16年規則第17号）の定めるところによる。</p>		
<p>(細則)  <b>第18条</b> 略</p>			<p>(細則)  <b>第18条</b> この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、学長が定める。</p>		
<p><b>別表第1</b>（第4条関係）</p>			<p><b>別表第1</b>（第4条関係）</p>		
	専攻・コース名	教員の免許状の種類（免許教科）		専攻・コース名	教員の免許状の種類（免許教科）
修士課程	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース 道徳・生徒指導コース 教育連携コース 臨床心理学コース	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，職業，職業指導，英語，ドイツ語，フランス語，宗教） 高等学校教諭専修免許状（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，書道，保健体育，保健，看護，家庭，情報，農業，工業，商業，水産，福祉，商船，職業指導，英語，ドイツ語，フランス語，宗教）	修士課程	学校教育専攻 学校臨床研究コース 臨床心理学コース	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，職業，職業指導，英語，ドイツ語，フランス語，宗教） 高等学校教諭専修免許状（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，書道，保健体育，保健，看護，家庭，情報，農業，工業，商業，水産，福祉，商船，職業指導，英語，ドイツ語，フランス語，宗教）
	幼年教育コース	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状		幼児教育コース	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状
	特別支援教育コース	特別支援学校教諭専修免許状 特別支援学校教諭一種免許状		特別支援教育コース	特別支援学校教諭専修免許状 特別支援学校教諭一種免許状
教科・領域	言語系教育実 国 語	幼稚園教諭専修免許状	教科・領域	言語系コース 国 語	幼稚園教諭専修免許状

教育専攻	<u>実践コース</u>		小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（国語） 高等学校教諭専修免許状（国語）
		英 語	中学校教諭専修免許状（英語） 高等学校教諭専修免許状（英語）
	<u>社会系教育実践コース</u>		小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（社会） 高等学校教諭専修免許状（地理歴史，公民）
	<u>自然系教育実践コース</u>	数 学	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（数学） 高等学校教諭専修免許状（数学）
		理 科	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（理科） 高等学校教諭専修免許状（理科）
	<u>芸術系教育実践コース</u>	音 楽	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（音楽） 高等学校教諭専修免許状（音楽）
		美 術	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（美術） 高等学校教諭専修免許状（美術，工芸）
	<u>生活・健康系教育実践コース</u>	保健体育	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（保健体育） 高等学校教諭専修免許状（保健体育）
		技 術	中学校教諭専修免許状（技術） 高等学校教諭専修免許状（工業）
		家 庭	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（家庭） 高等学校教諭専修免許状（家庭）
学校ヘル		中学校教諭専修免許状（保健）	

教育専攻			小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（国語） 高等学校教諭専修免許状（国語）
		英 語	中学校教諭専修免許状（英語） 高等学校教諭専修免許状（英語）
	<u>社会系コース</u>		小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（社会） 高等学校教諭専修免許状（地理歴史，公民）
	<u>自然系コース</u>	数 学	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（数学） 高等学校教諭専修免許状（数学）
		理 科	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（理科） 高等学校教諭専修免許状（理科）
	<u>芸術系コース</u>	音 楽	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（音楽） 高等学校教諭専修免許状（音楽）
		美 術	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（美術） 高等学校教諭専修免許状（美術，工芸）
	<u>生活・健康系コース</u>	保健体育	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（保健体育） 高等学校教諭専修免許状（保健体育）
		技 術	中学校教諭専修免許状（技術） 高等学校教諭専修免許状（工業）
		家 庭	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（家庭） 高等学校教諭専修免許状（家庭）
学校ヘル		中学校教諭専修免許状（保健）	

			スケア	高等学校教諭専修免許状（保健） 養護教諭専修免許状 栄養教諭専修免許状
専門 職学位 課程	教育実践高 度化専攻	<u>教育臨床コース</u> <u>教育経営コース</u>		幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（国語，社会，数 学，理科，音楽，美術，保健体育，保 健，技術，家庭，職業，職業指導，英 語，ドイツ語，フランス語，宗教） 高等学校教諭専修免許状（国語，地理歴 史，公民，数学，理科，音楽，美術， 工芸，書道，保健体育，保健，看護， 家庭，情報，農業，工業，商業，水産， 福祉，商船，職業指導，英語，ドイツ 語，フランス語，宗教）

			スケア	高等学校教諭専修免許状（保健） 養護教諭専修免許状 栄養教諭専修免許状
専門 職学位 課程	教育実践高 度化専攻	<u>教育実践リーダーコース</u> <u>学校運営リーダーコース</u>		幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（国語，社会，数 学，理科，音楽，美術，保健体育，保 健，技術，家庭，職業，職業指導，英 語，ドイツ語，フランス語，宗教） 高等学校教諭専修免許状（国語，地理歴 史，公民，数学，理科，音楽，美術， 工芸，書道，保健体育，保健，看護， 家庭，情報，農業，工業，商業，水産， 福祉，商船，職業指導，英語，ドイツ 語，フランス語，宗教）

別表第2（第6条関係）

履修基準単位表

(1) 修士課程

区分	授業科目の領域	単位	摘要
共通 科目	子どもの学びとこころのケアに関する科目 教育と社会問題に関する科目 教材開発と評価に関する科目 <u>海外教育研究に関する科目</u> <u>教職実践インターンシップに関する科目</u> (削る)	<u>4</u>	全専攻・コース共通とし、 <u>4単位以上</u> を修得するものとする。
	略		
専 攻 科	専門科目 <u>グローバル・ICT・学習研究に関する科目</u> <u>道徳・生徒指導に関する科目</u> <u>教育連携に関する科目</u> 臨床心理学に関する科目 <u>幼年教育に関する科目</u> 特別支援教育に関する科目	<u>16</u>	全専攻・コース共通（臨床心理学に関する科目の一部は、所属する専攻・コースに限る。）とし、 <u>16単位以上</u> を修得するものとする。

別表第2（第6条関係）

履修基準単位表

(1) 修士課程

区分	授業科目の領域	単位	摘要
共通 科目	子どもの学びとこころのケアに関する科目 教育と社会問題に関する科目 教材開発と評価に関する科目 (新設) (新設) <u>研究プロジェクトに関する科目</u>	<u>2</u>	全専攻・コース共通とし、 <u>1科目2単位以上</u> を修得するものとする。
	略		
専 攻 科	専門科目 <u>学校臨床研究に関する科目</u>  臨床心理学に関する科目 <u>幼児教育に関する科目</u> 特別支援教育に関する科目	<u>18</u>	全専攻・コース共通（臨床心理学に関する科目の一部は、所属する専攻・コースに限る。）とし、 <u>18単位以上</u> を修得するものとする。

目	言語系教育実践に関する科目 社会系教育実践に関する科目 自然系教育実践に関する科目 芸術系教育実践に関する科目 生活・健康系教育実践に関する科目		
	略		
計		30	

(2) 専門職学位課程

区分	授業科目の領域		単位	摘要
臨床共通科目	教育課程の編成及び実施に関する科目		20	全コース共通とし、必修科目5科目20単位を修得するものとする。
	教科等の実践的な指導方法に関する科目			
	生徒指導及び教育相談に関する科目			
	学級経営及び学校経営に関する科目			
	学校教育と教員の在り方に関する科目			
コース別選択科目	学校支援プロジェクト科目	学校支援リフレクション 学校支援プレゼンテーション	16	所属するコースに開設される「学校支援リフレクション2科目8単位」と「学校支援プレゼンテーション2科目2単位」を含み、計16単位以上を修得するものとする。
	プロフェSSIONAL科目			
実習科目	学校支援フィールドワーク		10	全コース共通とし、2科目10単位を修得するものとする。 <u>ただし、教育経営コースにおいて、1年制プログラムの履修を許可された者については、実習科目10単位のうち、6単位を履修したものとみなす。</u>

目	言語系教育に関する科目 社会系教育に関する科目 自然系教育に関する科目 芸術系教育に関する科目 生活・健康系教育に関する科目		
	略		
計		30	

(2) 専門職学位課程

区分	授業科目の領域		単位	摘要
臨床共通科目	教育課程の編成及び実施に関する科目		20	全コース共通とし、必修科目5科目20単位を修得するものとする。
	教科等の実践的な指導方法に関する科目			
	生徒指導及び教育相談に関する科目			
	学級経営及び学校経営に関する科目			
	学校教育と教員の在り方に関する科目			
コース別選択科目	学校支援プロジェクト科目	学校支援リフレクション 学校支援プレゼンテーション	16	所属するコースに開設される「学校支援リフレクション2科目8単位」と「学校支援プレゼンテーション2科目2単位」を含み、計16単位以上を修得するものとする。
	プロフェSSIONAL科目			
実習科目	学校支援フィールドワーク		10	全コース共通とし、2科目10単位を修得するものとする。 <u>ただし、小学校等の教員としての実務の経験を10年以上有している等の条件を満たす者については、申請に基づき、実習科目10単位のうち、6単位相当を免除することが</u>

計		46	

			できる。
計		46	

別表第3 (第7条関係)

1 修士課程

(1) 共通科目

領域	対象とする専攻・コース	授業科目	単位数及び授業方法等	
			必修	選択
子どもの学びとこころのケアに関する科目	全専攻・コース	(削る) <u>学校臨床心理実践法</u> 略		L 2
教育と社会問題に関する科目		略 <u>現代社会と教育連携</u> 略 (削る) <u>教育課程行政特論</u>		L 2  L 2
略				
海外教育研究に関する科目		<u>海外教育特別研究A</u> <u>海外教育特別研究B</u> <u>海外教育特別研究C</u> <u>海外教育特別研究D</u> <u>海外教育特別研究E</u> <u>海外フィールド・スタディ</u>		P 2 P 2 P 2 P 2 P 2 P 4
<u>教職実践インターンシップ</u> に関する科目		<u>教職実践インターンシップ I</u> <u>教職実践インターンシップ II</u>		S1・P1 S0.5・P1.5
(削る)				
実践場面分析演習	学校教育専攻	<u>グローバル・ICT・学習研究コース</u>	S 2	
	道徳・生徒指導コース	<u>実践場面分析演習「道徳・生徒指導」</u>	S 2	

別表第3 (第7条関係)

1 修士課程

(1) 共通科目

領域	対象とする専攻・コース	授業科目	単位数及び授業方法等	
			必修	選択
子どもの学びとこころのケアに関する科目	全専攻・コース	<u>学習臨床学特論</u> <u>臨床実践援助法</u> 略		L1・S1 L 2
教育と社会問題に関する科目		略 <u>現代社会と学校教育</u> 略 <u>学びと指導の学習科学</u> (新設)		L 2  L 2
略				
(新設)		(新設) (新設) (新設) (新設) (新設) (新設)		
(新設)		(新設) (新設)		
<u>研究プロジェクト</u> に関する科目		<u>研究プロジェクトセミナー</u>		S 2
実践場面分析演習	学校教育専攻	<u>学校臨床研究コース</u>	S 2	
		<u>実践場面分析演習「学習臨床研究」</u>		
		<u>生徒指導総合</u> <u>実践場面分析演習「生徒指導総合・学校心理」</u>	S 2	

教科・領域教育専攻	教育連携コース	実践場面分析演習「教育連携」	S 2	
	略			
	幼年教育コース	実践場面分析演習「幼年教育」	S 2	
	略			
	言語系教育実践コース	略		
	社会系教育実践コース	略		
	自然系教育実践コース	略		
芸術系教育実践コース	略			
生活・健康系教育実践コース	略			

教科・領域教育専攻		<学校心理> 実践場面分析演習「生徒指導総合・学校心理」	S 2	
	略			
	幼児教育コース	実践場面分析演習「幼児教育」	S 2	
	略			
	言語系コース	略		
	社会系コース	略		
	自然系コース	略		
芸術系コース	略			
生活・健康系コース	略			

(2) 専攻科目

領域	対象とする専攻・コース	授業科目	単位数及び授業方法等	
			必修	選択
専門科目	全専攻・コース	国際理解・地域教育デザイン 国際理解教育特論 持続発展教育と地球環境問題特論 総合学習カリキュラム開発特論 日本語教育特論 日本語教育演習 総合学習科学論 ICTを活用した教育・情報教育デザイン 情報教育の授業づくり 情報ネットワークを利用した教育と学習 教材作成プログラミング入門 教育工学特別演習 フィールドアクティビティデザイン 地域環境学習演習 総合学習演習		L1・S1 L 2 L1・S1 L1・S1 L 2 S 2 L 2 L1・S1 L 2 L 2 S 2 S 2 L1・S1 S 2 S 2

(2) 専攻科目

領域	対象とする専攻・コース	授業科目	単位数及び授業方法等	
			必修	選択
専門科目	全専攻・コース	<学習臨床研究> 現代教育方法学特論 現代教育課程特論 学校教育史特論 学級コミュニケーション特論 授業研究法特論 教育課程行政特論 海外教育特別研究A 海外教育特別研究B 海外教育特別研究C 海外教育特別研究D 海外フィールド・スタディ 学習場面臨床学特論 学習臨床支援特論 学習と相互行為特論 国語学習過程特論 算数・数学学習過程特論		L 2 L 2 L 2 L 2 L 2 L 2 P 2 P 2 P 2 P 2 P 4 L1・S1 L1・S1 L1・S1 L1・S1 L1・S1

る 科 目	<u>地域教材開発演習</u>	<u>S 2</u>			<u>造形表現学習過程特論</u>	<u>L1・S1</u>
	<u>探究型教科学習デザイン</u>	<u>L1・S1</u>			<u>情報教育方法特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>算数・数学学習過程特論</u>	<u>L1・S1</u>			<u>教育工学特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>国語学習過程特論</u>	<u>L1・S1</u>			<u>教育メディア特別演習</u>	<u>S 2</u>
	<u>総合学習特論</u>	<u>L 2</u>			<u>情報教育特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>地域環境学習特論</u>	<u>L 2</u>			<u>情報教育実践演習</u>	<u>S 2</u>
	<u>学習臨床カリキュラムデザイン</u>	<u>L1・S1</u>			<u>総合学習特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>学習臨床学特論</u>	<u>L1・S1</u>			<u>総合学習演習</u>	<u>S 2</u>
	<u>造形表現学習過程特論</u>	<u>L1・S1</u>			<u>総合学習過程分析特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>アクティブラーニングと学習研究授業</u>	<u>L1・S1</u>			<u>総合学習過程分析演習</u>	<u>S 2</u>
	<u>研究法特論</u>	<u>L 2</u>			<u>総合学習カリキュラム開発特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>現代教育方法学特論</u>	<u>L 2</u>			<u>国際理解教育特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>学習支援特論</u>	<u>L1・S1</u>			<u>地域教育特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>カリキュラムマネジメント特論</u>	<u>L 2</u>			<u>環境教育特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>教科内容構成特論「総合的な学習の時間」</u>	<u>L 2</u>			<u>地域環境学習特論</u>	<u>L 2</u>
					<u>国際理解教育演習</u>	<u>S 2</u>
					<u>地域教育演習</u>	<u>S 2</u>
					<u>環境教育演習</u>	<u>S 2</u>
					<u>地域環境学習演習</u>	<u>S 2</u>
		<u>日本語教育特論</u>	<u>L 2</u>			
		<u>日本語教育演習</u>	<u>S 2</u>			
		<u>日本語表現技術</u>	<u>S 2</u>			
道 徳 ・ 生 徒 指 導 に 関 す る 科 目	<u>いじめ等先端課題研究特論</u>	<u>L 2</u>			<u>&lt;生徒指導総合&gt;</u>	
	<u>生徒指導特論</u>	<u>L 2</u>			<u>教育学研究法特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>学校教育相談特論</u>	<u>L 2</u>			<u>教育社会学特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>キャリア教育特論</u>	<u>L 2</u>			<u>発達臨床思想特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>特別活動特論</u>	<u>L 2</u>			<u>教育学基礎理論演習</u>	<u>S 2</u>
	<u>発達障害学特論</u>	<u>L 2</u>			<u>教育実地調査分析演習 I</u>	<u>S 2</u>
	<u>道徳教育演習</u>	<u>S 2</u>			<u>教育実地調査分析演習 II</u>	<u>S 2</u>
	<u>生徒指導演習</u>	<u>S 2</u>			<u>生徒指導特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>学校教育相談演習</u>	<u>S 2</u>			<u>学校教育相談特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>キャリア教育演習</u>	<u>S 2</u>			<u>キャリア教育特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>特別活動演習</u>	<u>S 2</u>			<u>特別活動特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>学校カウンセリング演習</u>	<u>S 2</u>			<u>道徳教育特論</u>	<u>L 2</u>
	<u>教科内容構成特論「道徳」</u>	<u>L 2</u>			<u>教師の職能発達特論</u>	<u>L 2</u>
					<u>学校教育相談演習</u>	<u>S 2</u>
					<u>キャリア・カウンセリング演習</u>	<u>S 2</u>
					<u>学校モラルトレーニング演習</u>	<u>S 2</u>
					<u>学年・学級経営特論</u>	<u>L 2</u>
					<u>学校経営特論 I (教育課程経営論)</u>	<u>L 2</u>
					<u>学校経営特論 II (学校組織運営論)</u>	<u>L 2</u>
					<u>学校の危機管理特論</u>	<u>L 2</u>
					<u>教育法規特論</u>	<u>L 2</u>
		<u>教育政策特論</u>	<u>L 2</u>			

教育連携に関する科目		<u>教育社会学特論</u>	L 2		<u>家族関係学特論</u>	L 2		
		<u>教育哲学特論</u>	L 2		<u>現代教育改革特論</u>	L 2		
		<u>教育学研究法特論</u>	L 2		<学校心理>			
		<u>教育学基礎理論演習</u>	S 2		<u>心理学特殊実験</u>	P 2		
		<u>教育実地調査分析演習Ⅰ</u>	S 2		<u>学校実験計画法</u>	S 2		
		<u>教育実地調査分析演習Ⅱ</u>	S 2		<u>学校多変量解析法</u>	S 2		
		<u>学年・学級経営特論</u>	L 2		<u>教育心理学特論</u>	L 2		
		<u>教育法制特論</u>	L 2		<u>発達心理学特論</u>	L 2		
		<u>教育政策特論</u>	L 2		<u>学習心理学特論</u>	L 2		
		<u>学校経営特論A（学校組織連携）</u>	L 2		<u>社会心理学特論</u>	L 2		
		<u>学校経営特論B（学校危機管理）</u>	L 2		<u>学級集団心理学特論</u>	L 2		
		<u>教育環境デザイン特論</u>	L 2		<u>生徒指導特論</u>	L 2		
		<u>心理学特殊実験</u>	P 2		<u>学校教育相談特論</u>	L 2		
		<u>教育実践評価法特論Ⅰ</u>	L1・S1		<u>臨床心理学基礎論</u>	L 2		
		<u>教育実践評価法特論Ⅱ</u>	L1・S1		<u>発達障害学特論</u>	L 2		
		<u>教育心理学特論</u>	L 2		<u>学校カウンセリング演習</u>	S 2		
		<u>発達心理学特論</u>	L 2		<u>心理教育的アセスメント演習</u>	S 2		
		<u>動機づけと学習特論</u>	L 2					
		<u>授業の心理学特論</u>	L 2					
		<u>学校社会心理学特論</u>	L 2					
	<u>学級集団心理学特論</u>	L 2						
	<u>生徒指導特論</u>	L 2						
	<u>学校教育相談特論</u>	L 2						
	<u>臨床心理学基礎論</u>	L 2						
	<u>発達障害学特論</u>	L 2						
	<u>学校カウンセリング演習</u>	S 2						
	<u>心理教育的アセスメント演習</u>	S 2						
臨床心理学に関する科目	全専攻・コース	略			臨床心理学に関する科目	全専攻・コース	<u>臨床心理学研究法特論</u>	L 2
		<u>教育実践評価法特論Ⅰ</u>	L1・S1				<u>学校実験計画法</u>	S 2
		<u>教育実践評価法特論Ⅱ</u>	L1・S1				<u>学校多変量解析法</u>	S 2
		略					略	
		<u>動機づけと学習特論</u>	L 2				<u>学習心理学特論</u>	L 2
略			略					
<u>学校社会心理学特論</u>	L 2		<u>社会心理学特論</u>	L 2				
略			略					
幼児教育に関する		<u>幼年教育特論</u>	L 2		幼児教育に関する		<u>子どもの発達心理学</u>	L 2
		<u>幼年教育研究</u>	L1・S1			<u>コミュニケーションの発達支援心理学</u>	L 2	
		<u>子どもの発達心理学</u>	L 2			<u>子どもの環境特論</u>	L 2	
		<u>子ども研究の基礎</u>	L1・S1			<u>子どもの音楽的表現論</u>	L 2	

組 特別支援教育に関する科目	子どもの環境特論 子どもの遊び研究	L 2 L1・S1	組 特別支援教育に関する科目	子ども理解の実践演習 幼年教育論	S 2 L 2
	(削る) (削る) 特別支援教育原論 特別支援教育専門演習A 特別支援教育専門演習B 略 (削る) 略	L 2 S 2 S 4		障害児教育学論 障害児教育行政・制度論 (新設) (新設) (新設) 略 特別支援教育特論C 略	L 2 L 2 L 2    L 2
	<国語> 略 日本語教育演習 教科内容構成特論「国語」	S 2 L 2		<国語> 略 日本語教育演習 (新設)	S 2
	<英語> 略 小学校英語コミュニケーション演習 教科内容構成特論「英語」	S 2 L 2		<英語> 略 小学校英語コミュニケーション演習 (新設)	S 2
社会系教育実践に関する科目	略 地理情報学特論 略 公民科教育論 教科内容構成特論「社会」	L 2 L1・S1 L 2	社会系教育に関する科目	略 人文地理学特論 略 公民科教育論 (新設)	L 2 L1・S1
	<数学> 略 数学教育学基礎論 数学教育学実践論	L 2 L 2		<数学> 略 数学教育学特論A 数学教育学特論B	L 2 L 2
自然系教			自然系教		

育実践に関する科目

芸術系教育実践に関する科目

生活・健康系教育実践に関する科目

<u>教学教育学教材論</u> 教学授業実践演習 教科内容構成特論「算数・数学」	L 2 S 2 L 2
<理科> 略 理科野外観察指導実習 J <u>教科内容構成特論「理科」</u>	P0.5 L 2
<音楽> 略 音楽学概説 和楽器演習 民族音楽学特論 <u>教科内容構成特論「音楽」</u>	S 2 S 2 S 2 L 2
<美術> 略 陶芸研究 <u>教科内容構成特論「図画工作・美術」</u>	P 2 L 2
<保健体育> 略 教育保健学演習 <u>教科内容構成特論「体育・保健体育」</u>	S 2 L 2
<技術> 略 技術科教育教材開発演習 <u>教科内容構成特論「技術」</u>	S 1 L 2
<家庭> 略 家庭科教育学演習 <u>教科内容構成特論「家庭」</u>	S 2 L 2
<学校ヘルスケア> 略 <u>学校健康教育特論</u> 学校健康教育演習 略 (削る) <u>教材作成プログラミング入門</u> 略 (削る)	L 2 S 2 S 2

育に関する科目

芸術系教育に関する科目

生活・健康系教育に関する科目

(新設) 教学授業実践演習 (新設)	S 2
<理科> 略 理科野外観察指導実習 J (新設)	P0.5
<音楽> 略 音楽学概説 (新設) (新設) (新設)	S 2
<美術> 略 陶芸研究 (新設)	P 2
<保健体育> 略 教育保健学演習 (新設)	S 2
<技術> 略 技術科教育教材開発演習 (新設)	S 1
<家庭> 略 家庭科教育学演習 (新設)	S 2
<学校ヘルスケア> 略 <u>健康科学特論</u> <u>健康科学演習</u> 略 <u>教育メディア特別演習</u> <u>情報教育実践演習</u> 略 <u>学校経営特論II (学校組織運営論)</u>	L 2 S 2 S 2 S 2 L 2

			学校経営特論A (学校組織連携) 学校経営特論B (学校危機管理) 略 学校カウンセリング演習 略 (削る) 略		L 2 L 2 S 2
専 門 セ ミ ナ ー	学 校 教 育 専 攻	グ ロー バ ル ・ I C T ・ 学 習 研 究 コ ー ス	グ ロー バ ル ・ I C T ・ 学 習 研 究 セ ミ ナ ー I グ ロー バ ル ・ I C T ・ 学 習 研 究 セ ミ ナ ー II	S 4 S 4	
		道 徳 ・ 生 徒 指 導 コ ー ス	道 徳 ・ 生 徒 指 導 研 究 セ ミ ナ ー I 道 徳 ・ 生 徒 指 導 研 究 セ ミ ナ ー II	S 4 S 4	
		教 育 連 携 コ ー ス	教 育 連 携 研 究 セ ミ ナ ー I 教 育 連 携 研 究 セ ミ ナ ー II	S 4 S 4	
		略			
		幼 年 教 育 コ ー ス	幼 年 教 育 ・ 教 育 研 究 セ ミ ナ ー I 幼 年 教 育 ・ 教 育 研 究 セ ミ ナ ー II 子 ど も の 発 達 理 解 研 究 セ ミ ナ ー I 子 ど も の 発 達 理 解 研 究 セ ミ ナ ー II 子 ど も の 生 活 環 境 研 究 セ ミ ナ ー I 子 ど も の 生 活 環 境 研 究 セ ミ ナ ー II	S 4 S 4 S 4 S 4 S 4 S 4	
	教 科 ・ 領 域 教 育 専 攻	言 語 系 教 育 実 践 コ ー ス	略		
		社 会 系 教 育 実 践 コ ー ス	略		
		自 然 系 教 育 実 践 コ ー ス	略		
		芸 術 系 教 育 実 践 コ ー ス	略		
		生 活 ・ 健 康 系 教 育 実 践 コ ー ス	略		

備考 略

2 専門職学位課程  
(1) 臨床共通科目

領 域	対象とする コース	授 業 科 目	履修 年次	単位数及び授業方法等	
				必 修	選 択

			(新設) 学校の危機管理特論 略 臨床心理演習 略 特別支援教育特論C 略		L 2 S 2 L 2
専 門 セ ミ ナ ー	学 校 教 育 専 攻	学 校 臨 床 研 究 コ ー ス	<学 習 臨 床 研 究> 学 習 臨 床 研 究 セ ミ ナ ー I 学 習 臨 床 研 究 セ ミ ナ ー II	S 4 S 4	
		発 達 臨 床 コ ー ス	<生 徒 指 導 総 合> 生 徒 指 導 総 合 研 究 セ ミ ナ ー I 生 徒 指 導 総 合 研 究 セ ミ ナ ー II <学 校 心 理> 学 校 心 理 研 究 セ ミ ナ ー I 学 校 心 理 研 究 セ ミ ナ ー II	S 4 S 4 S 4 S 4	
		略			
		幼 児 教 育 コ ー ス	子 ど も の 発 達 理 解 研 究 セ ミ ナ ー I 子 ど も の 発 達 理 解 研 究 セ ミ ナ ー II 子 ど も の 生 活 環 境 研 究 セ ミ ナ ー I 子 ど も の 生 活 環 境 研 究 セ ミ ナ ー II 子 ど も の 表 現 研 究 セ ミ ナ ー I 子 ど も の 表 現 研 究 セ ミ ナ ー II 幼 児 教 育 ・ 教 育 研 究 セ ミ ナ ー I 幼 児 教 育 ・ 教 育 研 究 セ ミ ナ ー II	S 4 S 4 S 4 S 4 S 4 S 4 S 4 S 4	
		略			
	教 科 ・ 領 域 教 育 専 攻	言 語 系 コ ー ス	略		
		社 会 系 コ ー ス	略		
		自 然 系 コ ー ス	略		
		芸 術 系 コ ー ス	略		
		生 活 ・ 健 康 系 コ ー ス	略		

備考 略

2 専門職学位課程  
(1) 臨床共通科目

領 域	対象とする コース	授 業 科 目	履修 年次	単位数及び授業方法等	
				必 修	選 択

教育課程の編成及び実施に関する科目	全コース	教育課程の編成・実施の実践と課題	1・2	S 4	
教科等の実践的な指導方法に関する科目		教科等の実践的な指導方法の実践と課題	1・2	S 4	
生徒指導及び教育相談に関する科目		<u>子ども理解，生徒指導，教育相談の実践と課題</u>	1・2	S 4	
学級経営及び学校経営に関する科目		学級経営，学校経営の実践と課題	1・2	S 4	
学校教育と教員の在り方に関する科目		学校教育と教員の在り方に関する事例研究	1・2	S 4	

教育課程の編成及び実施に関する科目	全コース	教育課程の編成・実施の実践と課題	1・2	S 4	
教科等の実践的な指導方法に関する科目		教科等の実践的な指導方法の実践と課題	1・2	S 4	
生徒指導及び教育相談に関する科目		<u>生徒指導，教育相談の実践と課題</u>	1・2	S 4	
学級経営及び学校経営に関する科目		学級経営，学校経営の実践と課題	1・2	S 4	
学校教育と教員の在り方に関する科目		学校教育と教員の在り方に関する事例研究	1・2	S 4	

(2) コース別選択科目

領域	対象とするコース	授業科目	履修年次	単位数及び授業方法等	
				必修	選択
敬 媛 加 リ フ レ ク シ ョ ン 外 組	学校支援コース	教育臨床リフレクションⅠ	1	S 4	
		教育臨床リフレクションⅡ	2	S 4	
	教育経営コース	教育経営リフレクションⅠ	1	S 4	
		教育経営リフレクションⅡ	1・2	S 4	
学 校 支 援 プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	教育臨床コース	教育臨床プレゼンテーションⅠ	1	S 1	
		教育臨床プレゼンテーションⅡ	2	S 1	
	教育経営コース	教育経営プレゼンテーションⅠ	1	S 1	
		教育経営プレゼンテーションⅡ	1・2	S 1	
プロ フェ ッ シ ョ ナ ル 科 目	教育臨床コース	『学び合い』の授業論	1・2		S 2
		略 算数・数学科教材開発の理論と実際	1・2		S 2

(2) コース別選択科目

領域	対象とするコース	授業科目	履修年次	単位数及び授業方法等	
				必修	選択
敬 媛 加 リ フ レ ク シ ョ ン 外 組	学校支援リーダーコース	教育実践リフレクションⅠ	1	S 4	
		教育実践リフレクションⅡ	2	S 4	
	学校運営リーダーコース	学校運営リフレクションⅠ	1	S 4	
		学校運営リフレクションⅡ	2	S 4	
学 校 支 援 プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	学校支援リーダーコース	教育実践プレゼンテーションⅠ	1	S 1	
		教育実践プレゼンテーションⅡ	2	S 1	
	学校運営リーダーコース	学校運営プレゼンテーションⅠ	1	S 1	
		学校運営プレゼンテーションⅡ	2	S 1	
プロ フェ ッ シ ョ ナ ル 科 目	教育実践リーダーコース	学び合いの授業論	1・2		S 2
		略 算数・数学科授業デザイン論	1・2		S 2



(3) 実習科目						(3) 実習科目					
領域	対象とするコース	授業科目	履修年次	単位数及び授業方法等		領域	対象とするコース	授業科目	履修年次	単位数及び授業方法等	
				必修	選択					必修	選択
学校支援フィールドワーク	教育臨床コース	学校支援フィールドワークⅠ（ストレート）	1		P5	学校支援フィールドワーク	全コース	学校支援フィールドワークⅠ（ストレート）	1		P5
		学校支援フィールドワークⅡ（ストレート）	2		P5			学校支援フィールドワークⅡ（ストレート）	2		P5
	全コース	学校支援フィールドワークⅠ（現職）	1		P3			学校支援フィールドワークⅠ（現職）	1		P3
		学校支援フィールドワークⅡ（現職）	1・2		P3			学校支援フィールドワークⅡ（現職）	2		P3
		学校支援フィールドワークⅠ（特別）	1		P2			学校支援フィールドワークⅠ（特別）	1		P2
		学校支援フィールドワークⅡ（特別）	1・2		P2			学校支援フィールドワークⅡ（特別）	2		P2

**附 則（平成27年規程第 号（平成27年12月24日））**

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 平成27年度以前に大学院学校教育研究科に入学した学生については、この規程による改正後の上越教育大学大学院学校教育研究科履修規程（以下「改正後の履修規程」という。）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の履修規程別表第3に規定する修士課程又は専門職学位課程の授業科目については、履修することができる。

3 前項ただし書の規定により修得した単位は、修士課程の修了要件30単位又は専門職学位課程の修了要件46単位に算入しない。

(改正理由)

修士課程及び専門職学位課程（教職大学院）のコースの名称変更，専門職学位課程への1年制プログラムの導入，平成28年度入学生に係る教育課程の変更並びに学校教育法等の改正による義務教育学校の制度の創設に伴い，所要の改正を行うものである。

② 学校教育学部

上越教育大学学校教育学部履修規程の一部を改正する規程新旧対照表

改正案										現 行															
第1条～第16条 略										第1条～第16条 略															
別表（第9条関係）										別表（第9条関係）															
区 分			対象とする専修・コース	授 業 科 目	単位数及び授業方法等			標準履修年次	摘 要		区 分			対象とする専修・コース	授 業 科 目	単位数及び授業方法等			標準履修年次	摘 要					
					必 修	選 択	自由									必 修	選 択	自由							
人間教育 学関連科目	略	略	全専修・コース									実践的 人間理解科目	略	全専修・コース											
		略																							
		異文化理解		略												略									
	略												略												
基礎的 人間形成科目	基礎的 基礎理論		<教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想> 略 (削る) 略 <u>教育の哲学と思想</u> <幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）> 略 健康・安全・食の教育入門 略									基礎的 人間形成科目	基礎的 基礎理論												
	略													略											
略												略													

専 門 科 目	専 門 科 目	学 校 教 育 専 修	学校 臨床 コー ス	〈学習臨床〉 略 (削る) 略 学校社会心理学 (削る) <u>教育課程開発論</u> 略 (削る) 略 (削る) 略 (削る) 略 (削る) 略 (削る) 略 環境教育概論 <u>教科内容構成「総合的な学習の時間」</u>	L 2		<u>3</u>		略	
				〈生徒指導総合〉 略 <u>教育の哲学と思想</u> 略 学校社会心理学 略	L 2		2			
				〈学校心理〉 略 (削る) 略 学校社会心理学 略	L 2		<u>3</u>			
			臨床 心理 学コ ース	略 (削る) 学校社会心理学	L 2		<u>3</u>			
			略							
			略							
			略							
			社会 系コ ース	略 <u>地理情報学</u> 略	L 2		3		略	

専 門 科 目	専 門 科 目	学 校 教 育 専 修	学校 臨床 コー ス	〈学習臨床〉 略 <u>授業の心理学</u> 略 学校社会心理学 <u>学校教育史</u> <u>教科・教材基礎論</u> 略 <u>学習場面観察基礎</u> 略 <u>学習臨床開発論</u> 略 <u>学習と相互行為</u> 略 <u>社会科学学習過程論</u> 略 <u>国際交流体験演習</u> 略 環境教育概論 (新設)	L 2		<u>3</u>		略	
				〈生徒指導総合〉 略 <u>発達臨床思想</u> 略 学校社会心理学 略	L 2		2			
				〈学校心理〉 略 <u>授業の心理学</u> 略 学校社会心理学 略	L 2		<u>3</u>			
			臨床 心理 学コ ース	略 <u>授業の心理学</u> 学校社会心理学	L 2		<u>3</u>		<u>4</u>	
			略							
			略							
			略							
			社会 系コ ース	略 <u>人文地理研究</u> 略	L 2		3		略	

教育 専修	学校社会心理学 略		L 2		<u>3</u>	
	略					
	芸術 系コ ース	〈音楽〉 略 <u>日本音楽B</u> （日本の伝統的な歌唱を 含む。） 略 <u>合奏I</u> <u>合奏II</u> <u>日本音楽A I</u> <u>日本音楽A II</u> 略	S 2	S 2	3	略
	生活・健 康系 コ ース	略 〈家庭〉 略 <u>食物学I</u> <u>食物学II</u> 略	L 2 L 2		2 2	略
	略					
	略					

教育 専修	学校社会心理学 略		L 2		<u>4</u>	
	略					
	芸術 系コ ース	〈音楽〉 略 <u>独唱III</u> 略 <u>合奏A I</u> <u>合奏A II</u> <u>合奏B</u> (新設) 略	S 2	S 2	3	略
	生活・健 康系 コ ース	略 〈家庭〉 略 <u>食科学A I</u> <u>食科学A II</u> 略	L 2 L 2		2 2	略
	略					
	略					

備考 略

備考 略

**附 則（平成28年規程第 号（平成28年 月 日））**

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度以前に学校教育学部に入学者については、この規程による改正後の上越教育大学学校教育学部履修規程（以下「改正後の履修規程」という。）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の履修規程別表に規定する授業科目については、履修することができる。
- 3 前項ただし書の規定により修得した単位は、卒業要件単位に算入しない。

（改正理由）

平成28年度入学生に係る教育課程の変更に伴い、所要の改正を行うものである。